

20210429 第 92 回メーデー湘南地区大会

湘南地域連合は、F プレイスにて第 92 回メーデー湘南地区大会を開催、かながわ中央メーデーや他の地域メーデー同様に、YouTube による配信開催となりました。



鈴木実行委員長（湘南地域連合議長）は、「働く者の労働条件の向上などを広く社会に受けて発信し続け、多くの仲間と連携を深めて重要な役割を果たしてきました。しかし、昨年よりコロナ禍において働く者を取り巻く環境は予測不能であり、その中で悪化した経済状況・雇用問題・生活環境を戻すため、地域に根差した活動を展開することが重要」と述べました。

鈴木市長（藤沢市）、佐藤市長（茅ヶ崎市）、木村町長（寒川町）よりそれぞれあいさつがされました。

来賓あいさつとして、あべともこ衆議院議員（神奈川 12 区選出）より祝辞が述べられました。あべ代議士は、「私たちの社会は、こんなにももろかったのか？新型コロナウイルス感染症の影響で生活が脅かされ、社会の分断や性別での差別、感染者や医療従事者にまで及んでいる。コロナ禍においてもエッセンシャルワーカーの大切さ、働くということが社会の中心であること。その働く場所を向上させていくことが労働運動の原点だと改めて確認しました。コロナ禍において、今はフェイス to フェイスが出来なくても心と心を通わせて、コロナを乗り越えること、そして一番弱い部分を守り抜くことが大切。」と述べました。



メーデー宣言は、鬼塚副実行委員長が読み上げて提案されました。

興邊副実行委員が閉会のあいさつをされ、鈴木議長を中心に『団結！がんばろー！』で閉会しました。



【感想】

今回 WEB 開催となった第 92 回メーデー湘南地区大会ですが、鈴木実行委員長の挨拶から始まり、阿部知子衆議院議員、2 市 1 町の市長・町長からの来賓挨拶。約 3 分～5 分とコンパクトにまとめた挨拶の中には、コロナ対応、秋の選挙のことなど、多くの重要キーワードとなる言葉が含まれていました。私の感想としては、そう思っているにもコロナ禍でどう実践していくか。そこが肝となり、従来通りではなく工夫に工夫を重ねた対応が強く求めるし、求められるのではないかと感じました。何事もいうのは簡単です。どの様に実行・実践していくかを地域連合の一幹事として考えなければならないと思いました。

抽象的な感想文となりますが、「コロナ禍での実行力」を試される時が来ているのではないかと個人的には思いました。

運輸労連神奈川県連の地区連活動では、4 地区連の中でも 1 番動いているのが我々湘南地区連です。皆様のご協力のもと WEB 開催での幹事会や人数を絞った道路調査など、皆様から多くのご協力と理解を持って活動しています。引き続き、宜しくお願い致します。

丸全昭和運輸労働組合 萩原和彦

2021 年 4 月 29 日から第 92 回メーデー湘南地区大会が WEB で開催された。例年は茅ヶ崎中央公園で、青空もしくは雨天での開催がされていたようだが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり WEB 配信という新たな形をとっていた。

藤沢市長、茅ヶ崎市長、寒川町長及び衆議院議員の「あべ ともこ」氏からの挨拶があった。各代表者の挨拶のなかで「今は働く人それぞれが大変な時期であるが、みんなでこの状況を耐え支えあっていかなければならない時期、手をつなぎあうときだ」といったコメントもあった。今、弱い立場の人間といった言葉がよく報道等でも使われている。どういった立場の人間を指すのか改めて考え、認識し、より良い方向へ皆で進む為にも労働団体の代表者や市民代表者、国政代表者には何が必要か。無私を基に考えてもらいたいと思う。

日新労働組合 志田 一宏

昨年に続きコロナ禍の下、労働組合の活動も大きな制約を余儀なくされている状況が続いています。

緊急事態宣言 蔓延防止宣言が発出され沈鬱とした世情の中。我々労働組合の役割 活動方法も変化を求められているのでは無いかと感じています。

今 なにができるのか？組合員 その家族 地域のために活動しようと感じました。

ヤマト運輸労働組合厚木支部 小山 哲司

5月1日は、国際的にメーデー労働者の祭典！自分は労働運動にたずさわってから、メーデーの意味を知りました。はじめは、12時間以上の労働を虐げられていた労働者が、『8時間労働』を訴えた労働条件闘争から始まったと聞きました。現在の自分たちはその上で恩恵を受けていることや、その起点になるメーデーに対する態度を今一度考えなおすべきだと感じました。たとえば、連合中央メーデーでは、デモ行進を行った後に式典を行っている。神奈川においては知るところ、メーデー川崎地区大会がそういった運営となっていると思います。各地域や産別の事情はあるのですが、変えていい部分といけない部分があるのではないかと、『5月1日』は変えてはいけないと感じました。また、労働市場は買い手市場化し、不安定な雇用形態で働きざるえない非正規雇用者は、2019年の非正規は2,165万人、前年から45万人。増加傾向にあることから、問題視すべきだ！何のためのメーデーか？全世界で足並みをそろえてこそ、私たちが望む『労働者の連帯』となるのではないかと。

メーデー100年！世界のメーデーはどう変わったのか？調べたいテーマです。

神奈川県連 望月 博巳